

4月 学年団だより

香川県立高松北中学校 2年団

2022. 4. 6

昨年入学した子どもたちは中学校の1年間の生活を終え、時には少し大人びた表情を見せることがあるなど、言動にも成長の跡がうかがえます。まじめに学習に取り組む姿、友人と切磋琢磨しながら部活動に取り組む姿、また困っている友人をさりげなく気遣う姿等、そんな姿を彼らの成長と捉え微笑ましく見ていました。中堅学年としてのこの1年間は、部活動や委員会活動、生徒会活動などで中心となって活動する機会も増えてきます。各自が2年生としての目標を明確にもち、それに向けてさらに成長してほしいと思っています。

今年も2年団のスローガンは、『**してもらおう**』ではなく、『**何ができるか**』**考えよう!**』にしました。自分の周囲の状態や状況に気づき、それについてしっかり考え、実践する。昨年よりもっと考えて、実際の行動に移せるような教育場面も作っていきたいと考えています。そして、子どもたちが有意義な学校生活を送っていけるように支援していきます。新生活が始まり、何か気づいたことがあれば、ご家庭へ連絡させていただきます。ご家庭でも何か心配なことがありましたら、遠慮なく早めに学校へご連絡いただけたらと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

1 職員紹介（クラス、教科、部活動）

高橋すみれ（1組担任、数学、バレーボール） 皆さんと見る桜も2回目になり、嬉しく思います。今年目標は、日常使える韓国語の単語を増やすことです。今年も様々なことに一生懸命取り組んで、お互いに成長できたと思います。よろしくお願いいたします。
清水 祥行（1組副担任、保健体育、野球） 縁あって再び皆さんと生活できるようになり大変楽しみにしています。苦しい中にも笑顔あり、楽しい中にもけじめあり、といいつつできるだけ楽しいことを増やしていきましょう。みんなの若さを分けてくださいね。
尾野 新児（2組担任、社会、剣道） 新しい学校で、新しい生徒のみなさんに会うことを楽しみにしていました。いろいろ教えてもらうこともたくさんあると思いますが、みなさんと一緒に楽しく学校生活を送りたいと思います。よろしくお願いいたします。
野口 佳子（2組副担任・学年主任、英語、水泳・邦楽） 今年も皆さんと楽しく学校生活を送っていききたいと思います。「自分も大切、友だちも大切」、常に「他己中の心」をもって、みんなで笑い合っ、支え合っってほしいです。みんなで成長しよう!!
三好 海斗（3組担任、国語、サッカー） 何事も冷めてはもったいない。この1年、学校生活、勉強、部活動、行事、得意なこと、苦手なこと、全てのことに「情熱」を持って今年度は皆さんと学校生活を送っていききたいと思います。「想いは人を成長させる」そう信じてこの1年間、頑張りましょう!! よろしくお願いいたします。
田中 麻都加（3組副担任、英語、合唱・バレーボール） この春、高松北中学校に異動してきました。好きなものは果物いっぱい、のケーキと紅茶です。学校のこと、皆さんのこと、これからたくさん知っていききたいと思っています。皆さんの好きなものも教えてください。よろしくお願いいたします。

2 1年時GS（福祉学習）の発表について

3月23日に、当初の予定から延びていた福祉学習の発表会を行いました。各コースで学んだことを、模造紙やパワーポイントを使って説明したり、クイズ形式にしたり、劇にして表現したりしました。どのコースの発表も工夫を凝らし、分かりやすい内容になっていました。会場から笑いも起こり、楽しい雰囲気での発表となりました。少し感想を紹介します。

「障がいについて」

- ・「発達障がい」という言葉を聞いたことはあったが、詳しく知らなかったので勉強になった。その特徴や接し方まで説明してくれていたのが、今後参考にしたいと思った。
- ・相手が不安にならないように、常に笑顔で接していきたいと思った。
- ・自分の今までの言動を振り返って考えることができた。相手がいやな気持ちにならないように接していきたい。
- ・障がいがあるとか、ないとか関係ない。みんな同じ人間。だれもが気持ちよく生活できるように、自分にできることをしていきたい。

「高齢者理解について」

- ・学んだことをクイズ形式にしていたので、1つ1つじっくり考えることができた。
- ・視覚や聴覚に訴える発表内容だったので、楽しく学べた。高齢者に根強く人気のある曲をあてるのは難しかったけれど、昔、祖父が昭和の曲を聞いて楽しそうにしているのを思い出した。すべての人が楽しめる社会にしていきたいと思った。
- ・高齢者の方々との接し方で、間違っていて考えていたことがあったので、自分の中で修正できた。
- ・常に相手を大切に思う気持ちを持ち、笑顔で相手に寄り添ったコミュニケーションをとっていきたくと思った。
- ・みんなが「相手に寄り添う気持ち」をもてば、差別や偏見はこの世の中に存在しなくなるのではないかと感じた。
- ・近所に住んでいる高齢者の方々に、笑顔であいさつから始めたいと思った。

「パラスポーツについて」

- ・パラスポーツの始まりが、「戦争で負傷した兵士たちのリハビリをかねたスポーツ」と知って驚いた。
- ・「車いすテニス」や「ボッチャ」などのルールを詳しく知ることができた。実際に実技して見せてくれたグループもあったので分かりやすかった。これからもっと興味をもって応援できるなと思った。
- ・私は、ブラインドサッカーに興味をもった。プレイするときに、距離や角度などの感覚を身につけなければならないので、すごいなと思った。ケガをしないように頑張ってもらいたいと思った。
- ・パラリンピックのシンボルマークや競技の種類などが、絵や文にすっきりまとめられていて分かりやすかった。
- ・「スポーツはどんな障がいがあってもできる。」ということを知り、だれもが共通に楽しめるものだと確信した。

「共生社会をめざして」

- ・学んだことを劇で表現してくれていたのが、楽しく分かりやすかった。見ごたえがあった。
- ・ただ説明するのではなく、劇中のその役になりきって説明していたので、分かりやすく共感できた。
- ・手話もしてくれた。簡単なあいさつぐらいの手話はマスターしたいと思った。
- ・盲導犬については知っていたけれど、聴導犬や介助犬、セラピー犬のことは知らなかったのが、説明が聞いてよかった。
- ・ユニバーサルデザインには、「公平性」「自由度」「単純性」「明確さ」「安全性」「体への負担の少なさ」「空間性（十分な大きさや広さがあること）」などの7つの原則があることが分かった。それらの機能やデザインに納得した。
- ・いろいろな視点から見た内容だったので、だれにとっても分かりやすい内容になっていた。だれもが過ごしやすい社会にするためには、相手を思いやる気持ちをもつことが一番大切。日常生活の中で常に意識していきたい。
- ・特別な見方をすることなく、相手のことを知り対等に接していきたい。



「障がいについて」



「高齢者理解について」



「パラスポーツについて」



「共生社会をめざして」

年少者も高齢者も、障がいのある人もない人も、国籍や言語の異なる人も、すべての人々がこの社会の中で、誇りをもって、心豊かで幸せな生活を送ることができるようにすることが、福祉学習のめざすものです。「知識を学ぶ→気づき考える→実践する」を1つのサイクルと捉え、これからも学習したことを自分の事としてしっかり考え、課題の解決に向かわせたいと考えています。

3 朝学習について

5月中旬から朝の学習をスタートします。昨年度に引き続き、朝のセミナーで教科の基礎力を培いたいと考えています。昨年度、セミナーファイルを自宅に持って帰り、その日のセミナーの解き直しを自主勉強ノートにして来る生徒も何人かいました。そのような丁寧な学習は、必ず確かな学力となっていきます。8時10分までに教室に入り、15分より約20分間実施となります。この20分の学習と家庭学習を合わせての丁寧な学習を継続してほしいと思います。なお、それまでは読書の時間としていきます。

4 体育祭・PTA総会について

5月10日(火)の体育祭で、2年生は初めて「よさこい」踊りに挑戦します。3年生の先輩たちと伝統の「よさこい」を完成させるために、1年生の3学期から頑張ってお練習してきました。新型コロナウイルスの影響で、体育祭がどのような内容になるか分かりませんが、精一杯の演技を披露したいと思います。楽しみにしておいてください。また、5月14日(土)にはPTA総会もあります。お忙しい時期だと思いますが、ご来校ください。